
大学教育学会ニュースレター

No.83 2010.2.5

大学教育学会 (*Liberal and General Education Society of Japan*)

事務局 : 桜美林大学淵野辺キャンパス内

〒229-0006 神奈川県相模原市淵野辺 4-16-1

TEL/ FAX : (042) 704-7014

郵便振替口座:00120-4-178891 大学教育学会

e-mail: ungakkai@gmail.com

URL: <http://www.daigakukyoiku-gakkai.org/>

大学教育学会 第32回(2010年)大会

総合テーマ

大学の存在意義(レゾンデートル)

大学教育学会第32回大会

企画委員会委員長 濱名 篤

(趣旨)

第32回学会大会の開催にあたって

大会テーマ: 「大学の存在意義(レゾンデートル)」

民主党への政権交代となって文科省予算は5.9%と過去30年で最も増額したものの、内訳をみると高校無償化に多くの予算が割かれ、高等教育予算は対前年比で減額となっている。このことも含め、近年の大学を取り巻く状況は一層厳しさを増している。18歳人口の減少による入学者の確保難、景気の大規模悪化による就職難、といった入口・出口の問題だけでなく、学生の多様化の進行する中で教育の質保証に対する要求の高まりなど、各大学の課題は山積している。OECD先進国と比べ進学率は高すぎないといった議論も続く中で、大学の存在意義が、大学全体としても、地域社会との関係においても、そして個別大学としても問われていると断言していい。大学は、教育機関としてだけでなく、多くの教職員といった知的資源を有し、学生という若年生活者を抱えている。そういう意味では、文化的、経済的、政治的にも大きな影響力を内包している。大学の存在が、地域振興のパートナーをはじめ、社会に対しどのように役割を果たし、影響をもたらしているのか、さらに今後どのような存在感を期待されているのだろうか。

こうした大学の存在意義を巡る議論は、首都圏などの大都市圏においてよりも、むしろ地方においてより重要であろう。地方短大の4年制大学への転換がなお続く一方で、募集停止を行う大学が少しずつ出てきたり、地方や郊外キャンパスから都心部へのキャンパス移転も増加したりしてきており、大学と地域社会の関係も変化してきており、大学が地域社会に一方的に貢献するのでも、地域社会が大学を支えるというだけでも不十分であろう。学士課程教育の中で注目されたように、地域社会の中での現場体験を教育に取り込むという点でも両者の関係はより重要となってきている。今大会の会場である四国地区の私大定員充足率は85%(2009年)と5年前から10ポイント悪化し、中国地区は89%と6ポイント悪化しており、地域社会における大学の存在意義がひととき問われつつある。

こうした関心から大会テーマを「大学の存在意義(レゾンデートル)」と定め、大会校主催のシンポジウムのテーマは「地域社会と大学」とした。会員各位の日頃の教育研究活動の経験と実践を踏まえつつ、議論と交流のできる大会となることを願っている。会場校の愛媛大学関係者をはじめとする実行委員、企画委員そろって、“おもてなしの心”で皆さまの参加をお待ちしている。

企画委員長 濱名 篤 (関西国際大学)

**大学教育学会 第32回(2010年)大会
総合テーマ**

「大学の存在意義(レゾンデートル)」

開催要領(概要)

1. 開催日時及び会場

期日 2010年6月5日(土)～6日(日)

会場 愛媛大学城北キャンパス 共通教育講義棟、グリーンホール(松山市文京町3番)
(市内電車環状線:赤十字病院前下車:徒歩3分)

ひめぎんホール(松山市道後町2-5-1)

(市内電車道後温泉行:県民文化会館前下車)

2. 大会日程

第1日:6月5日(土)

8:30 9:00 9:30 12:10 13:10 15:50 16:20 17:20 17:30 18:20 18:30 20:00

受付		自由研究発表①	昼食	自由研究発表②	移動	総会	学長挨拶	基調講演	移動	懇親会
----	--	---------	----	---------	----	----	------	------	----	-----

第2日:6月6日(日)

8:30 9:00 12:00 13:00 15:40 16:30

受付	シンポジウム	昼食	ラウンドテーブル	閉会
----	--------	----	----------	----

第1日 6月5日(土)

- 8:30～ 受付
- 9:00～9:20 新会員及び初めて参加される方のためのオリエンテーション
- 9:30～12:10 自由研究発表①(160分)
- 12:10～13:10 昼食
- 13:10～15:50 自由研究発表②(160分)
- 15:50～16:20 移動(バス・徒歩にて)
- 16:20～17:20 総会(ひめぎんホール)
- 17:20～17:30 学長挨拶(ひめぎんホール)
- 17:30～18:20 基調講演 小笠原正明(ひめぎんホール)
- 18:20～ 移動
- 18:30～20:00 懇親会(真珠の間)

第2日 6月6日(日)

- 8:30～ 受付
- 9:00～12:00 シンポジウム(グリーンホール)
- 12:00～13:00 昼食
- 13:00～15:30 ラウンドテーブル(共通教育講義棟)
- 15:40～ 会長閉会挨拶・次期会場校挨拶(グリーンホール)

▲ 関連行事

6月4日(金) 16:00～ 理事会(松山全日空ホテル4Fルビーの間)
18:30～ 理事会懇親会(松山全日空ホテル3Fローズの間)
(松山市一番町3-2-1)

16:00～ 若手研究者交流会(愛大ミューズ学生生活動スペース(2))

18:30～ 若手研究者懇親会(愛媛大学学生会館2Fリーセス)
(愛媛大学城北キャンパス 松山市文京町3番)

3. 「ラウンドテーブル」企画要領

ラウンドテーブルは会員間の研究活動を活性化し、さらには学会全体で共有できる研究課題を発掘することを目的として2002年の宮城大学での大会からプログラムに組み込まれてきました。本学会は、多様な研究領域の方々が集まりながら「大学教育」ということに焦点を当ててその充実を図ることを大きな目標としています。ラウンドテーブルにおいても個別研究領域・研究機関の課題に終始することなく、多様な人々の研究情報の交換ができる場となることが望まれます。以上の趣旨をご理解頂いたうえで、ラウンドテーブルの企画に当たっては、企画者だけでなく発表者(発題者・話題提供者等)についても原則として会員とし、複数の教育研究機関にわたるようご配慮下さい。ラウンドテーブルの申し込みについては、「自由研究およびラウンドテーブルの申し込みについて」をご参照下さい。ラウンドテーブル全体の調整・とりまとめは大会企画委員会が行います。また、ラウンドテーブルの内容は企画者によって大学教育学会誌にご報告頂きます。

4. 総会

議長 小笠原正明(会長)

5. 基調講演

演題: 「大学教育における地方性と世界性」

講師: 小笠原正明(筑波大学)

6. シンポジウム:「地域社会と大学」

趣旨: 18歳人口の減少と経済状況の悪化という厳しい環境の下で、地方における大学のおかれた環境は厳しさを増している。学生の確保や多様化する学生への対応に苦慮する中で、質保証についての要請は高まり、こうした変化に対応を求められ、就職状況の悪化にも対策を立てていかなければならない。他方、高齢化、過疎化、税収減などの問題に直面する地域も数多くあり、地域についての理解を持った教職員や学生を抱える地元の大学に対し、地域振興、地域文化など様々な側面での期待は高まってきているという側面もある。こうした難しい状況の下で、地域社会と大学の新たな関係をどのように考えていくかが本シンポジウムのテーマである。両者の関係は、これまでは共存・共栄という抽象的な在り方を掲げるにとどまってきたが、地方における大学の閉鎖や移転といった事例も現実になってきており、地域の発展(衰退)と大学の発展(淘汰)など両者の関係が連動する可能性が具体的に高まりつつある。地域と大学の関係は、これまで以上に地域社会にとっても重視されると考えられ

る一方、大学にとっての教育資源あるいは教育研究上のパートナーとしての地域社会（行政、産業界、地域住民等を含む）の重要性も高まっている。今大会テーマである「大学の存在意義（レゾナードール）」の中でも、特に「地域社会」と「大学」の関係に焦点を当て、大学の存在意義について、文部行政、地域社会、大学の立場からの意見をもとに討議していく。

シンポジスト：柳澤 康信（愛媛大学学長）

演者未定（ ）

演者未定（ ）

演者未定（ ）

コーディネータ：濱名 篤（関西国際大学・本大会企画委員長）

7. 「自由研究」発表要領

会員の研究発表とそれに基づく討論は、学会活動の基本です。会員各位の積極的な参加を期待します。「自由研究」の発表要領は以下の通りです。

- (1)各発表とも発表 15 分+質疑応答 5 分、計 20 分です。
- (2)「発表テーマ」「発表内容要旨」を参考にして、いくつかの会場に分かれて行います。会場分けは、大会実行委員会にご一任願います。
- (3)会場ごとに、発表終了後、総合討論の時間を設けます。発表者は必ず総合討論にご参加下さい。
- (4)共同研究の成果を発表される場合は、会場での発表者は本学会員とします。但し「発表要旨集」には、共同研究者として非会員の氏名も記載することができます。
- (5)団体会員としての資格で発表する場合は、団体名での発表になります。該当する場合は、ホームページ上の演題登録の際、必ず下段の『所属機関名 1』に団体名をご記入ください。
- (6)自由研究①、自由研究②への振り分けについては、大会実行委員会にご一任願います。

第 32 回大会に関するお問い合わせは、下記にお願いします
〒790-8577 松山市文京町 3 番 愛媛大学 教育・学生支援機構内
大学教育学会第 32 回大会事務局
TEL 089(927)8900
E-mail: lges@ac.rsol.jp

自由研究およびラウンドテーブルの申し込みについて

※「自由研究」と「ラウンドテーブル」の申込締め切りは、**2010年3月1日(月)必着**です。

※両申し込みとも、原則、**学会大会 HP からの申し込み**となりますのでご了承ください。

1. 以下の学会大会 HP にある『自由研究発表・ラウンドテーブルお申し込みはこちら』にお入りください。

<http://ac.rsol.jp/lges/>

2. 『基本情報登録』終了後、『演題登録』に進みます。
3. 演題種別で「自由研究」あるいは「ラウンドテーブル」を選択してください。「自由研究」の場合は、カテゴリーに分かれていますので、該当のメニューを選んでください。「ラウンドテーブル」の発表者(企画者を除く)の個別申し込みは必要ありません。
4. 「自由研究」「ラウンドテーブル」とも、登録内容は以下の通りです。
 - ・発表内容概要は日本語 300 字程度、または英語 150 語程度
 - ・キーワードは 5 個以内で設定可能
 - ・PC 用プロジェクター使用希望の有無
注 ; PC はご持参ください。プロジェクターは windows XP 対応です。
その他の機器を希望する場合は、別途お問い合わせください。
5. 「ラウンドテーブル」企画者は、発表者の情報を締切日までに必ず入力してください。
6. 「自由研究」発表の申し込みが受理されますと、大会実行委員会より「発表要旨」原稿の作成を依頼します。「発表要旨原稿作成要領」に従って**4月20日(火)必着**で原稿を大会実行委員会宛にご提出ください。「ラウンドテーブル」の場合もこれに準じますが、詳細は個別にご連絡いたします。

本申し込みに関してのお問い合わせは、以下までお願いいたします。

e-Mail ; lges@ac.rsol.jp

件名は『自由研究(もしくはラウンド)に関する問い合わせ』とご記入ください。
大学教育学会第32回大会事務局 TEL : 089-927-8900 (岸岡・松本)

お願い (重要)

会費納入状況に基づく発表および企画の資格を確認するため、会員番号の記載を義務付けております。学会名簿をご参照の上、ご記載願います。なお会員番号が不明な場合は、学会事務局までお問い合わせ下さい。

=事務局から=

● 会費納入のお願い

今年度(2009年度)の会費が未納の方および過年度の会費・会誌代が未納の方々は、**2月26日(金)**までにご入金ください。(領収証につきましては、郵便払込票の受領証をもって替えさせていただきます。)

なお、入金状況について不明な方は、メールもしくはFAXにて4桁の会員番号を明記の上、お問い合わせください。追って、返答させていただきます。

年会費等郵便振替口座 00120-4-178891 「大学教育学会」

ご入金はなるべく**郵便払込取扱票**をご利用ください。やむを得ず、**銀行からご入金を希望される場合は、お手数でもご入金前に必ず事務局までその旨ご連絡ください。**

● 大学教育学会第32回(2010年度)大会参加のためのご案内について

大会への参加申込みにつきましては、Web(<http://ac.rsol.jp/lges/>)にてお申し込み下さい。

また、参加費につきましては、「郵便払込取扱票」を次号(4月発行予定)にて送付させていただきますので、宜しくお申し込み申し上げます。

● 2010年度課題研究集会について

2010年度課題研究集会は、11月27日(土)～28日(日)
武庫川女子大学 中央キャンパスにて開催予定です。

● 住所変更の届出についてのお願い

定期刊行物は、おもにヤマトメール便を利用しているため、転居にともなう転送はされず、数週間後、事務局へ返送されてまいります。事情をご考慮いただき、ご登録内容に変更が生じた場合は、事務局までご連絡くださいますようお願い申し上げます。



【大会事務局】

〒790-8577 松山市文京町3番
愛媛大学教育・学生支援機構内
大学教育学会第32回大会事務局
TEL: 089-927-8900(岸岡・松本)
E-mail: lges@ac.rsol.jp

【学会事務局】

〒229-0006 神奈川県相模原市淵野辺 4-16-1
桜美林大学淵野辺キャンパス3階
Tel/ Fax 042-704-7014
E-mail: ungakkai@gmail.com
URL: <http://www.daigakukyoku-gakkai.org/menu.htm>